
Beauty ?

HEERO

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Beauty?

【Nコード】

N2142G

【作者名】

HERO

【あらすじ】

自分の外見に悩む主人公の考え方が変わる話。

言いたくないけど、私は顔が良くない。おまけに少し太ってて、可愛い服も着られない。常に鏡を恐れながら生きている。

毎朝、通学のために乗る電車。周りの乗客に首を巡らし、小さく、重い溜息を漏らす。

私は正直、自分以外の人間は全員自分よりも優れていると思うてる。確信している。

みんな可愛い。綺麗。カッコイイ。余裕が伺える。でも私には、何も無い。

電車での憂鬱はそのまま学校へ引き継がれる。

目に映る生徒誰もが、私より精巧に出来ている。完成している。きつとみんな毎日が楽しくてしかたないことだろう。

それに比べて何故私は欠陥だらけなのだろうか。呪い？ カルマ？でもある日偶然、私は私よりも明らかに容姿の劣った女性と出会い、友達となった。いやらしい話、正直優越感を抱いた。

ところがすぐにその友達が、実は私よりもずっと魅力的な人間だということが分かった。

器量やその他美しさを欲する点は私と同じ。でも彼女は足りないものを埋めるために努力をしているのだ。そしてその努力を楽しんでいる。もっと言えば生きる喜びにさえしてしまっている。

彼女は誰よりも輝いていた。

私は彼女に習い、自分を磨く努力を始めた。

合理的なダイエット、自分でできる整顔、肌のケア、そして理想の自分に近づくためのイメージング。痩せた時に備えてファッション雑誌を見たり、周りの服装をチェックするのも欠かさない。

少しずつ、でも着実に、私も輝き始めてきた。

最近では電車の中、校内、どこにいようと堂々としていられる。

以前の私では考えられなかったことだ。

そんな私にまた新しい友達ができた。今度は私よりもずっと、顔立ちもスタイルもいい女性。私が今まで避けてきたタイプだ。

でもどういうわけか彼女は自分の外見に深く悩んでいた。話を聞くと、どうも今の状態を維持しきれず苦勞しているらしい。

彼女は焦りのためか、効果に即効性ばかりを求め、上辺だけの本末転倒なケアを行っていたのだ。それではいけないと、生意気にも私はそのことを指摘してあげた。

足りないこと、欠落していることだけが辛いんだと思っていた私でも決してそうじゃなかった。

まだまだダメダメな私。全然理想には届かない私だけど、誰よりも生き生きとしている。誰よりも毎日を楽しんでいる。

自信を持って、そう言える。

(後書き)

作者は醜形恐怖に近い状態に陥っています。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2142g/>

Beauty ?

2011年10月3日19時58分発行